

平成24・25年度 熊本県教育委員会指定  
「生きる力」を育む研究指定校  
(学力充実研究推進校)

全体会

研究発表

「早口いよぼのうた」

ふじたたまお

藤田圭雄

早口いよぼをいってるかい

おやゆびしっかりにぎりしめ

くちびるじゅっぶんしめらせて

あたまをひやしてしゃべるんだ

生麦 生米 生卵

むずかしそうだがなんでもない

おへそにちからをいれるのせ

ほっぺたよくよくもみほぐし

あおぞらみつめてしゃべるんだ

交響曲 歌曲 協奏曲

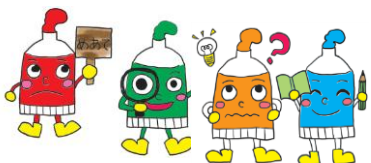
だれなの見てたのきこったの

練習中だよだめでしょ

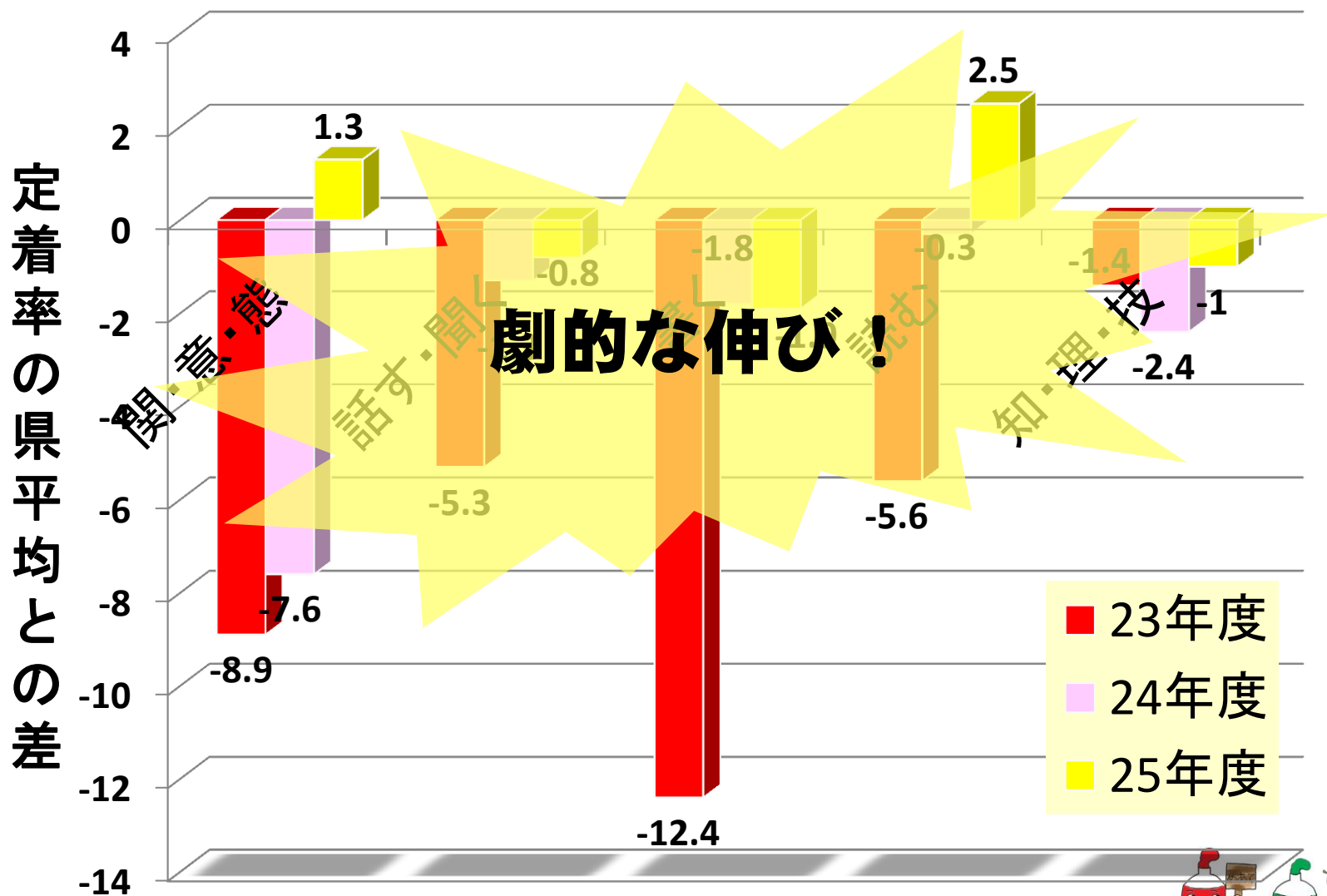
ひざりじゃいれるよまっしつへ

ふたりでなかよくしゃべるんだ

消防車 清掃車 散水車



# 県学力調査国語科の結果(3年から6年までの平均)



※25年度は、24年度と同一問題で実施し、24年度の県平均と比較

# 研究主題

## 確かな言葉の力を育む国語科学習の創造

～伝え合い 学び合い 高め合う

子どもの姿を目指して～



菊陽中部小学校

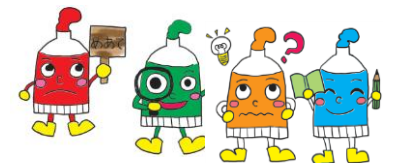
# 主題設定の理由

## 今日的 課題

- 思考力・判断力・表現力の低下
- コミュニケーション力不足

## 本校の 教育目標

- 「心豊かに、かしこく、たくましく生きる子どもの育成」

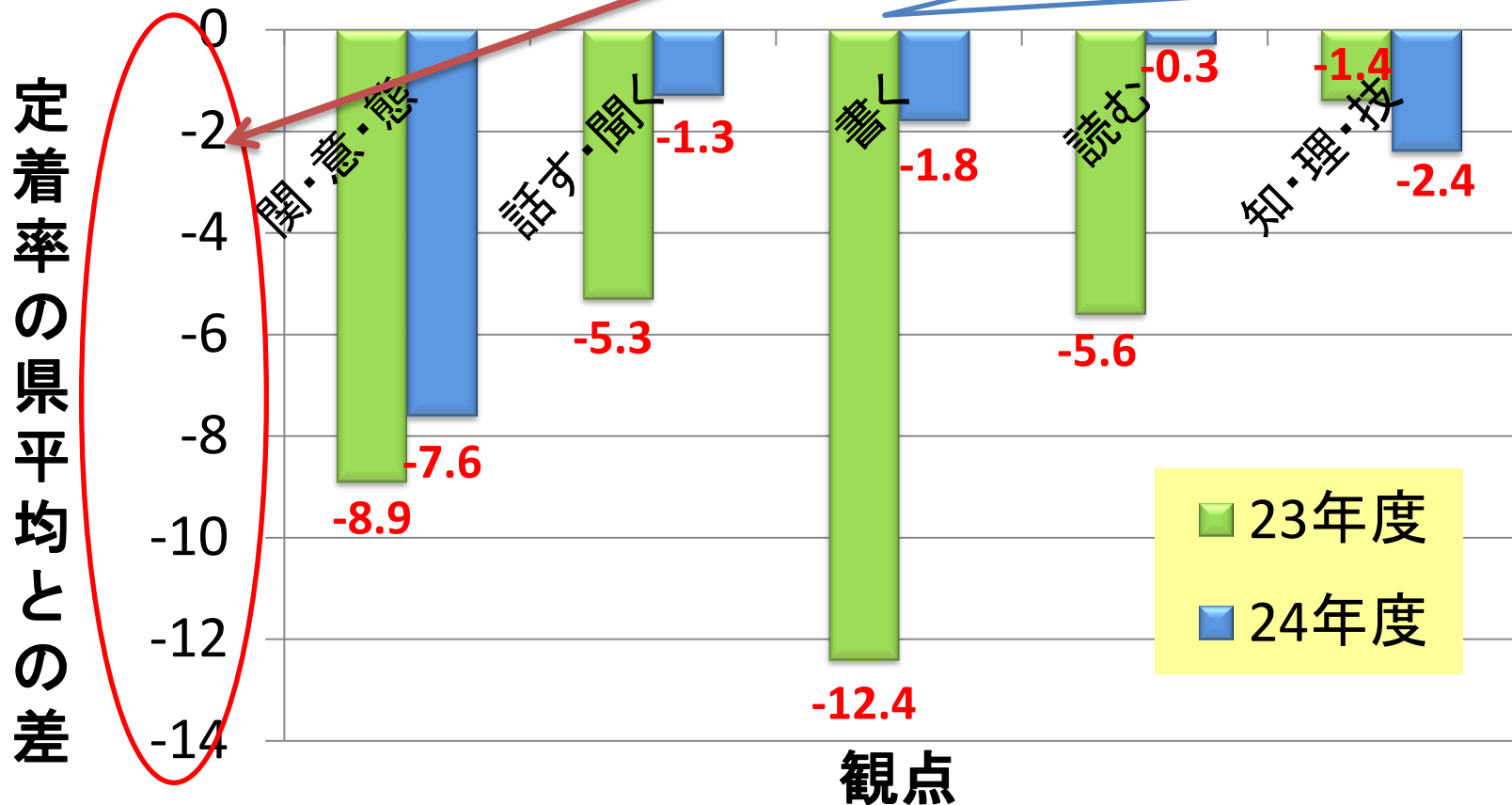


# 主題設定の理由

## 児童の実態1

国語科における学力の定着率が低い

県学力調査国語の結果(3年から6年までの平均)

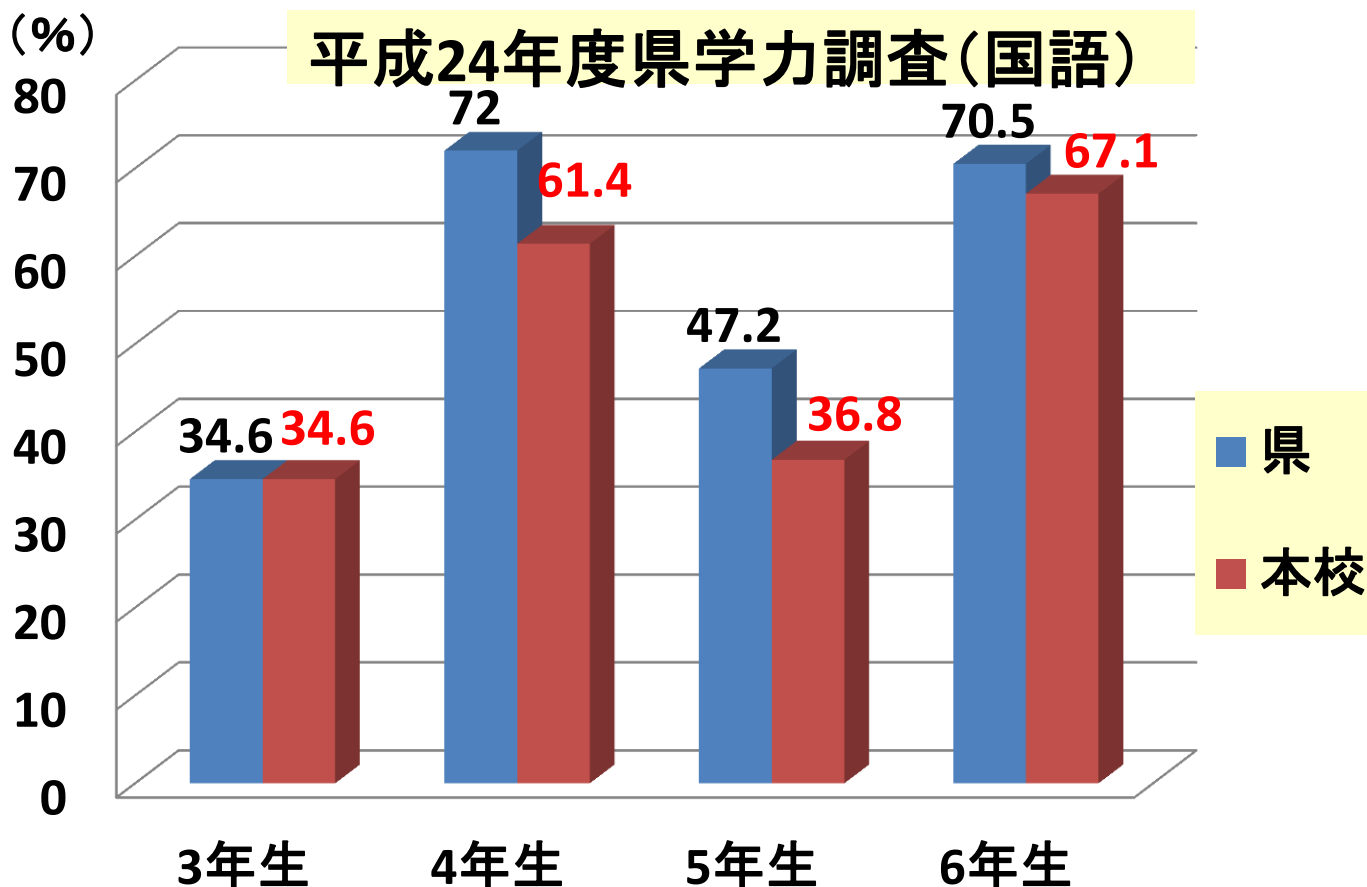


# 主題設定の理由

## 児童の実態2

# 「活用力」が低い

主に「活用」に関する  
問題の定着率

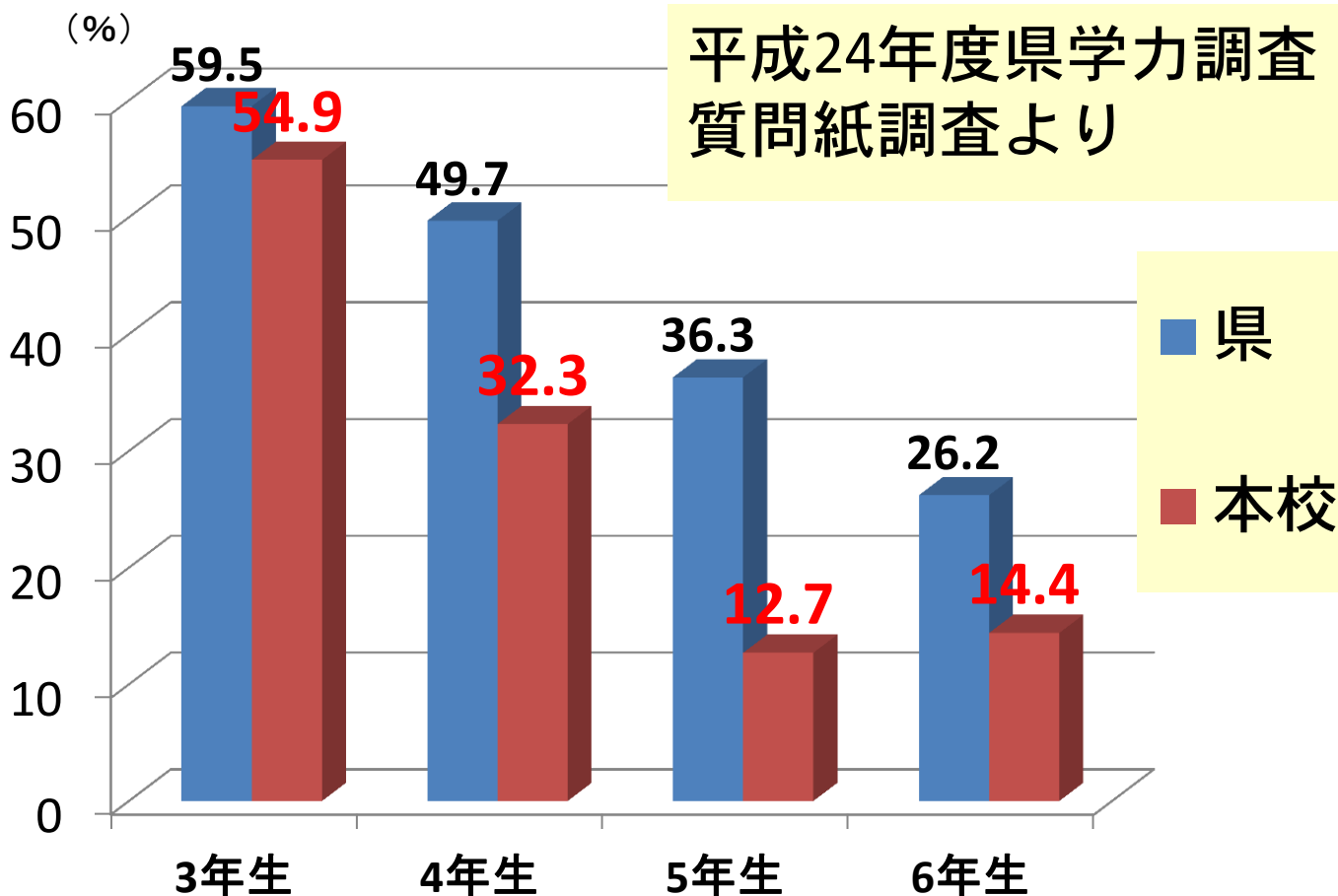


# 主題設定の理由

## 児童の実態3

# 読書量が少ない

一か月に本を7冊  
以上読んでいる割合



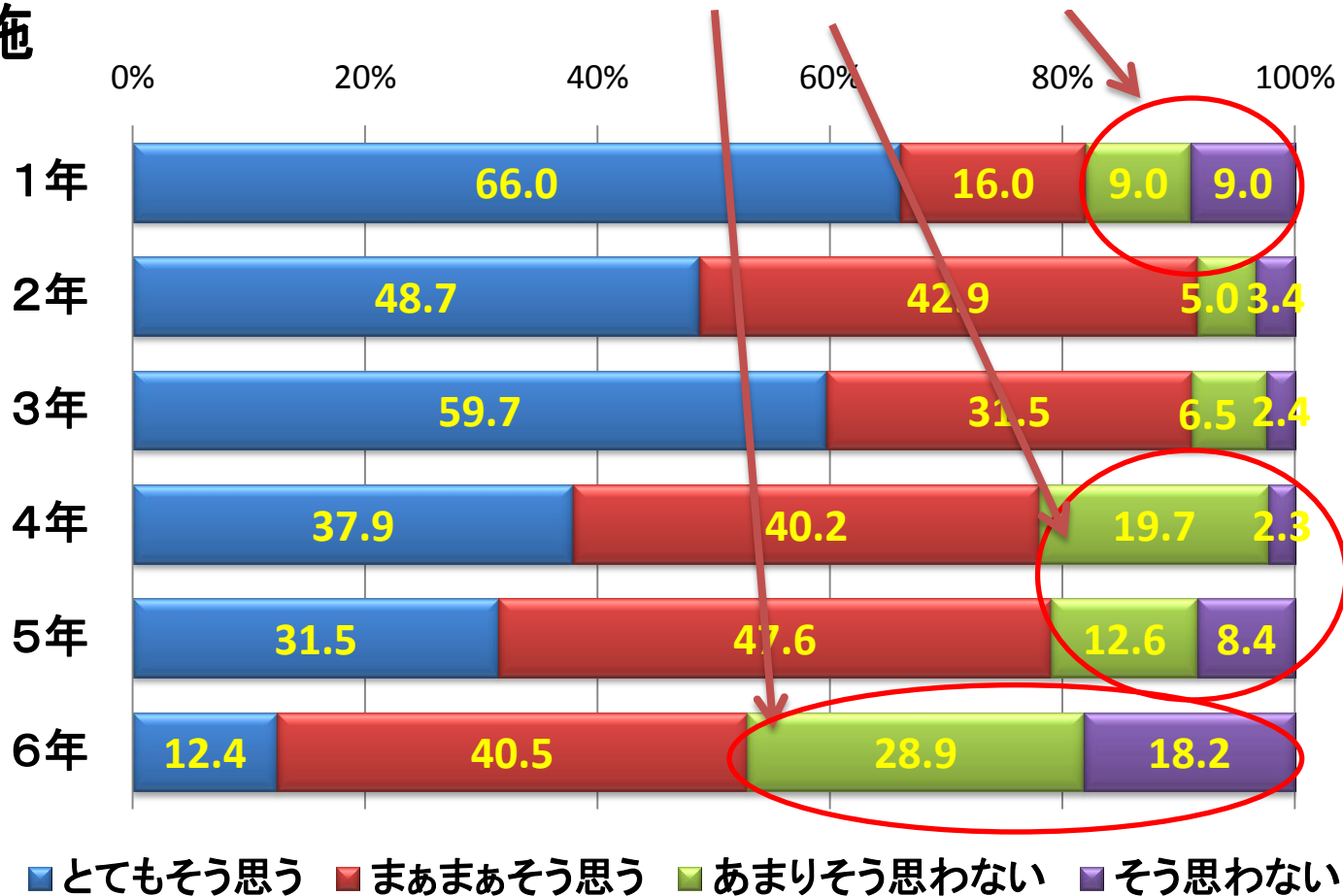
# 主題設定の理由

## 児童の実態4

# 意欲面に課題

平成24年6月実施

授業のめあてを見て  
やってみよう、がんば  
ると思う



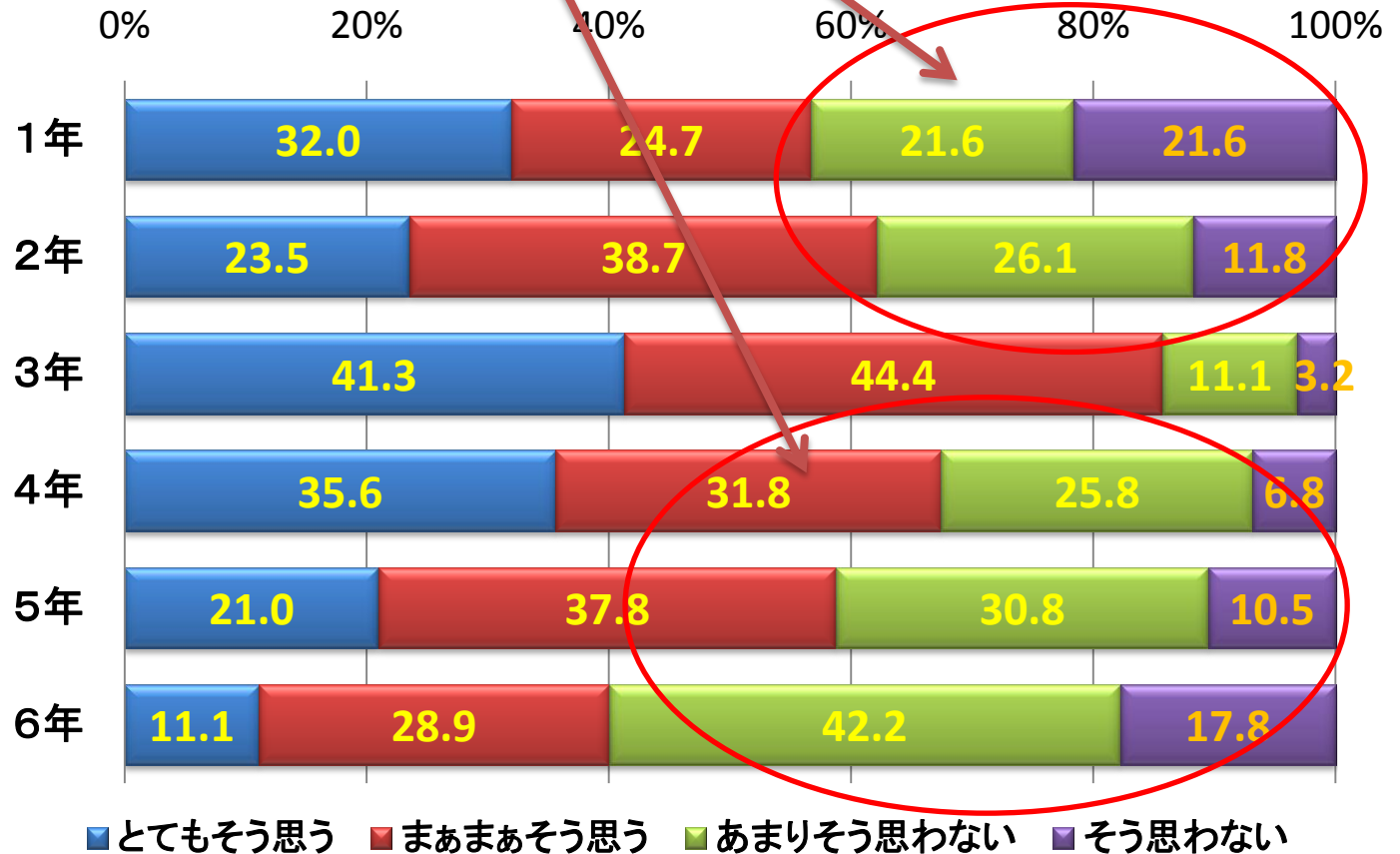
# 主題設定の理由

## 児童の実態5

# 「対話」を通じた 学びの必要

平成24年6月実施

考えを发表或したり、  
質問したりするよう  
な学習が好き



# 今年度の研究の重点

- 学び合いのさらなる充実と定着
- 学習意欲の向上
- 学習の基礎づくり
- 「活用」を意識した単元構成の工夫
- 言語環境の整備

説明文で！



# 主題分析

## 確かな言葉の力とは

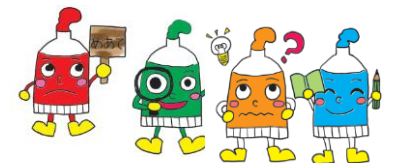
自分の考え



言葉を選んで



論理的に組み立て



# 主題分析

国語科学習の創造性

教師主導  
の授業から  
の脱却

意欲、興味・関心

思考力・判断力・表現力  
(言語活動)

交流の組織化  
学び合い

授業の工夫改善



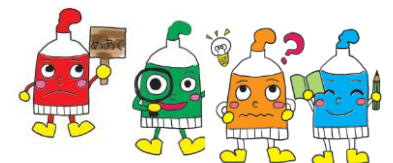
## 学び合いの定義

自己との対話

他者との関わり

考えを発展

主体的な  
学習への  
参加



# 主題分析

伝え合う

- ・ 多様な方法で話す、聞く
- ・ 互いに理解し合う

学び合う

- ・ 共感、質問、言い換え、提示
- ・ 互いの考えや意見の引き出し合い

高め合う

- ・ 発見、自信、論理性、新たな考え
- ・ 学び合う意義の実感

# 仮説

## 【仮説 1】

自分の考え

伝え合い  
学び合い  
高め合う

授業展開

確かな言葉の力

## 【仮説 2】

言葉に  
興味・関心

言葉の良さ  
に気付く

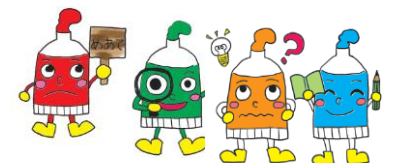
日常の  
場の工夫



# 研究の視点

## 仮説1についての視点

- (1)「学習の基礎づくり」に向けた日常的な取り組み
- (2)学習意欲を高める工夫
- (3)「学び合い」の場の設定
- (4)評価の工夫



# 研究の視点

## 仮説2についての視点

(1) ひばりっ子(学力定着)タイム

(2) 言語環境の整備

(3) 家庭・地域・小中連携



# 具体的な実践

## 仮説1について 〈1年生の実践例〉

<b>単元名</b> (教材)	のりもののことをしらべよう 「いろいろなふね」(東京書籍 1年下)
<b>単元を通して身に付けさせたい力</b>	<b>意欲付け</b> 事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと【読イ】
<b>単元を貫く言語活動(子どもの学習目的)</b>	<del>乗り物博士になって、「のりものカード」を作成しよう</del>
<b>具体的な手立て</b>	<b>学習の基礎づくり</b> ○「学び合い」の工夫(場の設定)(学習課題)(方法) ○単元にかかわる日常的な取組及び意欲付け <del>音読の繰り返し学習、対話のスキル学習、</del> <del>乗り物に関する並行読書、「のりものカード」モデル提示</del>

# 具体的な実践

## 仮説1について 年間の単元評価重点一覧表の作成

年間の単元評価重点一覧表【第3学年】

月	単元名	指導事項等	国語への関心・意欲・態度			話す・聞く能力					書く能力					読む能力				
			話す・聞く	書く	読む	ア 話意設定・必要な事柄・要旨のメモ	イ 目的や理由・筋道を立てる・丁寧な言葉	ウ 言葉の抑揚や強弱・間の取り方	エ 話の中心に注意・質問や感想	オ 共通点や相違点・司令や提案の役割	ア 関心のあること・相手や目的に応じて	イ 段落の役割・明確さ・段落相互の関係	ウ 中心の明確さ・目的に応じた理由や事例	エ 敬称と着称の違いに注意	オ 間違いの訂正・表現の書き直し	カ 発表・意見交換	ア 中心や場面の様子が変わる音読	イ 目的や理由・筋道を立てる・丁寧な言葉	ウ 場面の移り変わり・登場人物の心情や情	エ 文章の要旨や細かい所に注意・文章の引用や
4	様子や気持ちが伝わるように音読しよう														◎		○			
	自分をしょうがいしよう									◎	○									
	段落に気を付けて読もう											○				◎		○		
5	えらんだ理由を話そう				◎															
	かんさつしたことを書こう									○	◎									
	形のがわる言葉に気をつけよう													○						
6	物語のあらすじをとらえよう													○			◎		◎	
	話を聞いてメモをとろう							◎												
	漢字の組み立てと意味を考えよう																			
	書く人の工夫を考えよう																◎		○	
	心にのこったことを書こう									○	◎	○			○					

身に付けさせたい力の明示



# 具体的な実践

## 仮説1について

## 「学び合いの姿」の系統表

- 「よ
- 「なるほど」
- 「あれっ」
- 「こうかもしれない」
- 「こうしたらどうかな」

疑問

自分の考えをもつ (一人学習・自分の体験)

共感

低・中・高で  
話す側、聞く側  
の姿を具体的に  
示す

		ペアワーク・グループ・全体で学ぶ合う子どもの姿		教師の姿
		話す側	聞く側	
低 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を押し、伝える。</li> <li>「～です。」「～だと思えます。」</li> </ul>	<p>納得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分と同じ意見か違う意見か考えながら聞く。</li> <li>「～います。」</li> <li>「少～います。」</li> <li>分からない時仕聞いたり聞き返したりする。</li> <li>「分かりません。」「～教えてください。」</li> </ul>	<p>驚き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が同じ意見をまとめてグループ化する。</li> <li>子どもの意見を言いかえて考えさせる。</li> <li>「それはこういう意味ですか。」</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見に理由をつけて伝える。</li> <li>「～です。」</li> <li>「～だと思えます。むけは、～だからです。」</li> <li>根拠を説明した理由をつけて伝える。</li> </ul>			

# 具体的な実践

## 仮説1について 学び合いの工夫

どんな学習課題  
がいいのか？

やってみたい…  
早く読みたい…

どのような  
場で？

どのような  
方法で？

内容理解の場…  
要点をまとめる場…

写真、付箋紙、など  
あるといいかな…



# 具体的な実践

仮説1について

〈1年生の実践例〉

学習課題  
の工夫

しょうぼうていは、どんなふねだろう



(一人で)



(ペアで)

なりきり対話

質問の例を示す



(全体で)



# 具体的な実践

## 仮説2について

## ひばりっ子タイム

### 語彙力の育成【音読】



視写

対話のスキル  
学習



菊陽中部小学校

# 具体的な実践

## 仮説2について

### 学習環境

話がはずむあいいうえお



あ「ああ〜。(なるほど)」

い「いいねえ。」

う「うん。(なぜ?)」

え「え〜っ。(びっく)」

お「おお〜。(すげー)」



## 言語環境の整備

5年生 言葉の世界

宮沢賢治の作品

雨ニモマケズ  
雷ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケズ  
丈夫ナカラタヲモチ 慾ハナク 決シテ啜ラス  
イツモツカニワラツテイル  
一日ニ五葉四合ト 味噌ト少シノ野菜ヲタベ アラコルコトヲ  
ジツシラカンジヨウニ入レズニ ヨクミキキワカリ  
ソシテワスレズ  
野原ノ松ノ蔭ノ 小サナ堂フキ小畑ニイテ  
東ニ病氣ノ子供アレバ  
行ツテ看病シヤリ 西ニ後シタ母アレバ 行ツテソノ福ノ東ヲ救ヒ  
南ニ死ニソウナアレバ 行ツテコハガナクテモイ トイヒ  
北ニケンクワヤソシヨウガアレバ ツマラナイカラヤムトイヒ  
ヒテリノトキハオミタヨナガシ サムサノオツハオロオアルキ  
ミンナニデクノポトヨバレ ホメラレモセズ  
クニモサレズ サウイウモノニ ワタシハナリタイ

たくさん読んで  
覚えよう

俳句

閑さや岩にしみいる蝉の声  
遠足のおくれ走りつながらし  
夏草に汽笛車の車輪来て止まる  
落ち葉たくけむりまこひて人またる  
白鷺のひかりの穂をいま刻む

松尾 芭蕉  
高沢 虚子  
山口 鴎子  
水原 秋桜子  
黒田 杏子

銀河鉄道之夜

国語に親しむ環境

# 具体的な実践

## 仮説2について

### ミニ図書館コーナー



## 言語環境の整備

読書に親しむ  
環境

### NIEコーナー





# 具体的な実践

## 仮説2について

### 家庭学習の手引き

## 家庭・地域・小中連携

### 基礎学力向上システムの活用

**中部っ子 家庭学習の手引き 4年**  
菊陽町立菊陽中部小学校

**学習をするときに心がけること**

- ☆ 学校から帰宅したら、できるだけ早く家庭学習をする。
- ☆ テレビやラジオ、音楽などを見たり、聞いたりしながらの学習はしない。
- ☆ 文字を書くときは、『自分以外の人にも見せる』という気持ちで、ていねいに書く。

**毎日の主な学習内容**

- ① 今日出された宿題をやる。
- ② 自主学習に取り組む。
- ③ 明日の準備をする。

**学習時間の目安**

- 1年生…20分
- 2年生…30分
- 3年生…40分
- 4年生…50分
- 5年生…60分
- 6年生…70分

**家庭学習でがんばってほしい学習の内容**

**国語**

- ・漢字練習をする(漢字スキル等を使って)。
- ・言葉の意味調べをする。
- ・漢字の音訓調べをする。
- ・教科書の文を写したり、内容をまとめたりする。
- ・読書をする。  
(読んだ書名、作者、ページ数、一言感想)
- ・新聞を読む。

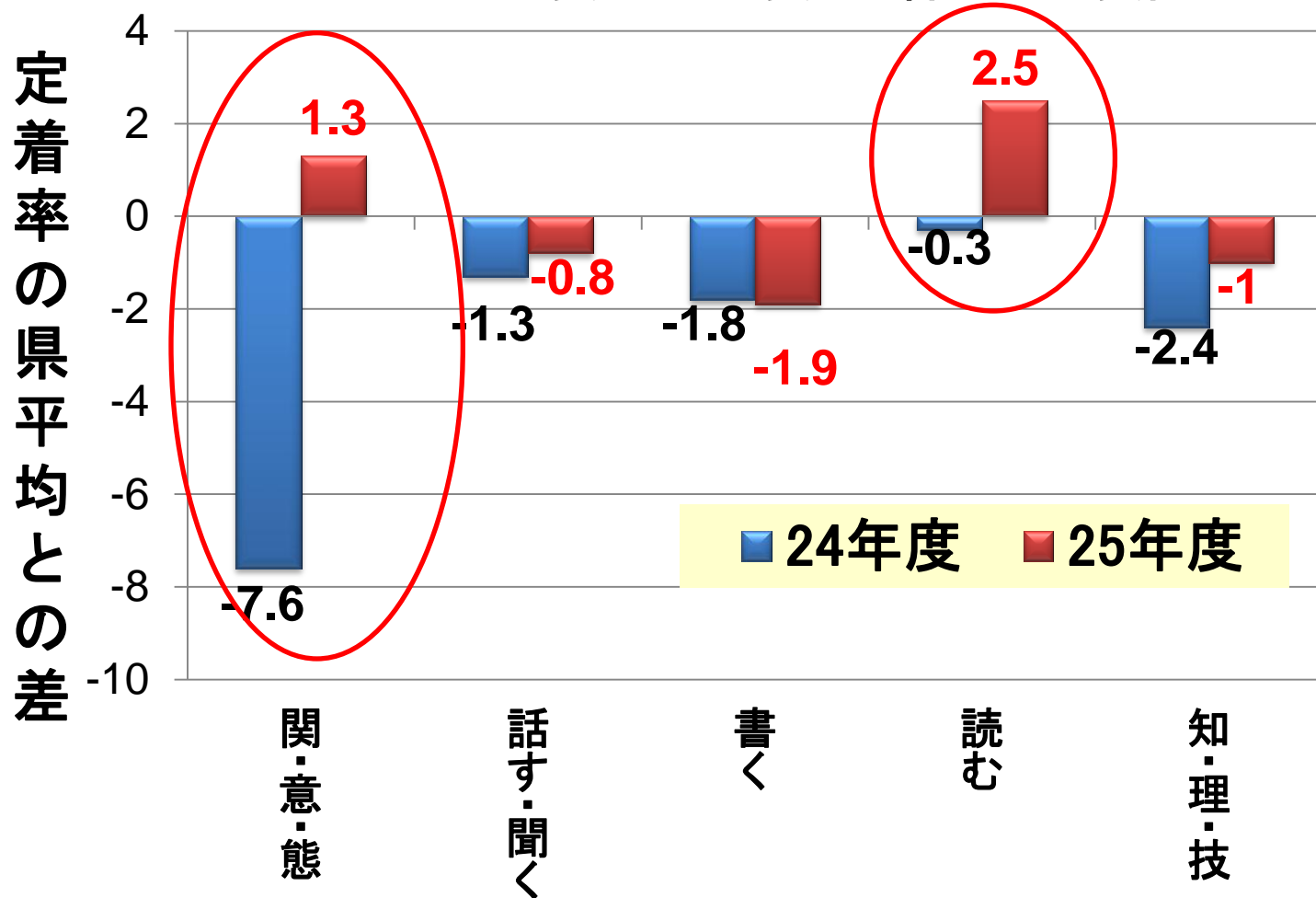
**社会**

- ・教科書を読んで大切なところをまとめる。
- ・社会科クイズを作る。
- ・新聞を読む。  
(記事を切りぬいてはり、感想を書く。)
- ・テストをやり直す。
- ・都道府県名を覚える。(白地図を利用する)
- ・都道府県についてくわしく調べる。
- ・川、平野、山地などを書いて覚える  
(白地図を利用する)



# 成果と課題

県学力調査観点別定着率:3年～6年の平均値  
平成24年度・25年度(国語24年度問題)

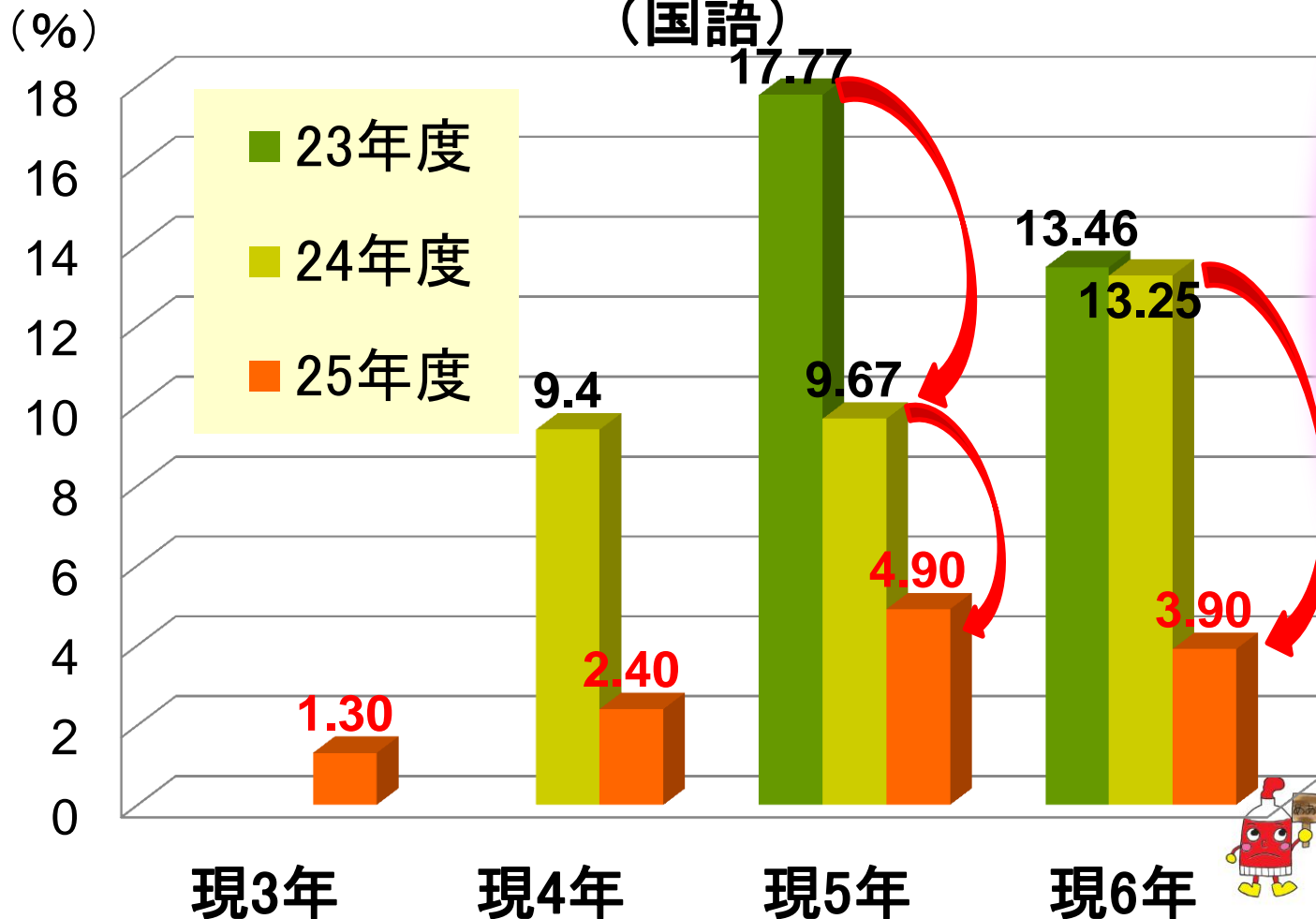


国語科の  
学力向上

# 成果と課題

## 県学力調査における無答率の推移

(国語)

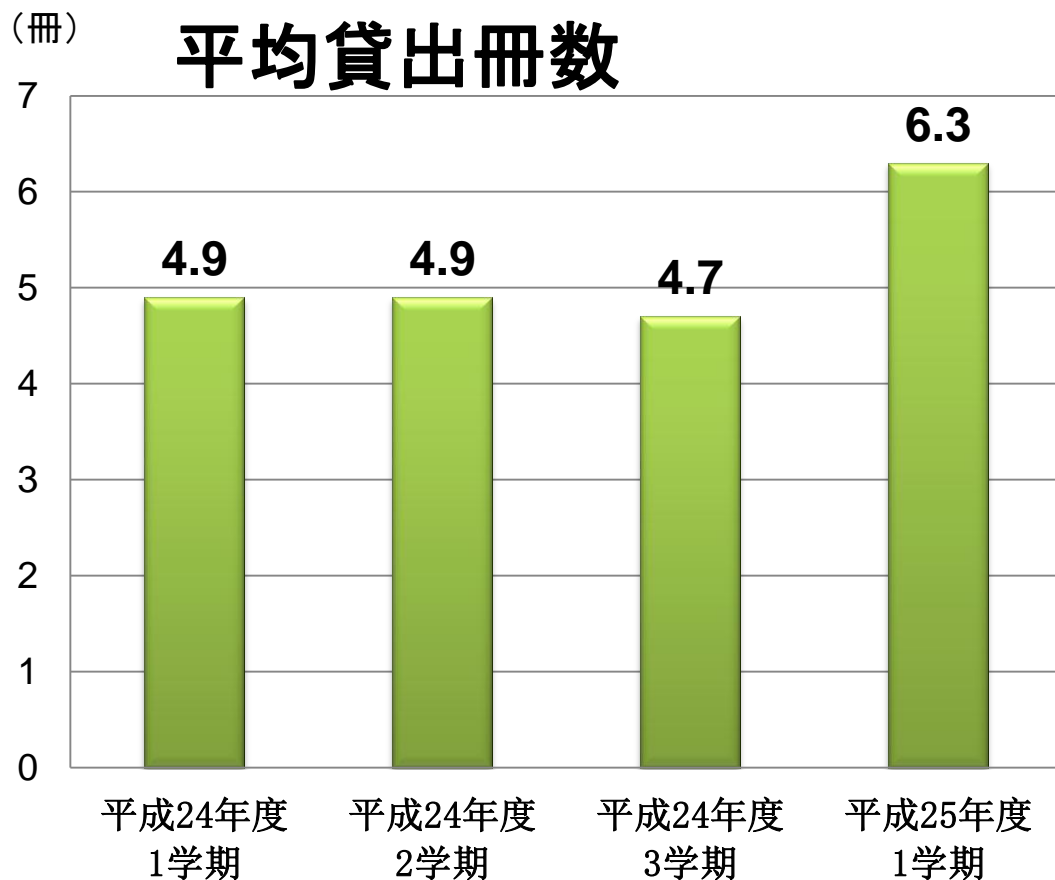


意欲の高まり



# 成果と課題

## 本校図書室一人あたりの 平均貸出冊数



読書量が増加



# 成果と課題

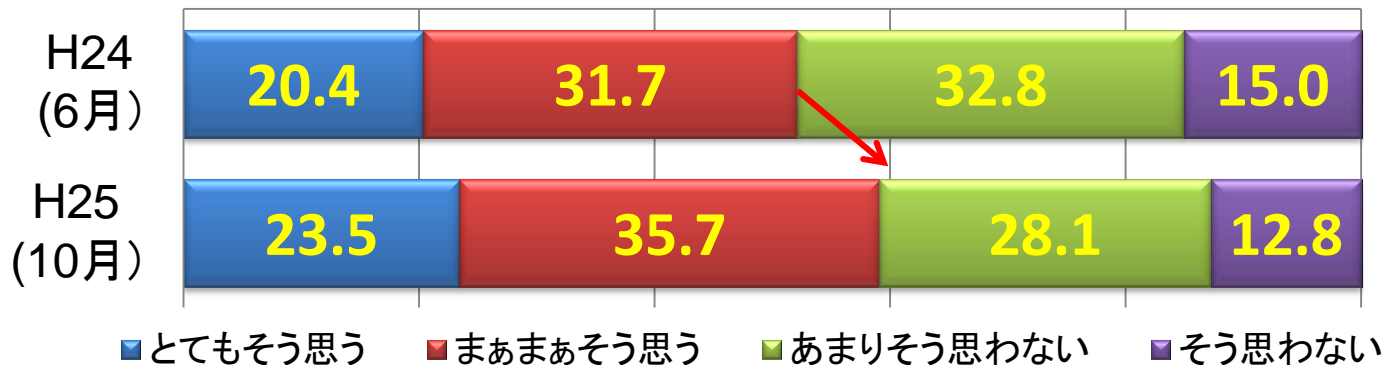
授業中、わからないときに、友だちや先生に聞いていますか

0% 20% 40% 60% 80% 100%



友だちの発言に関してわからないところをたずねたりつけ加えたりしていますか

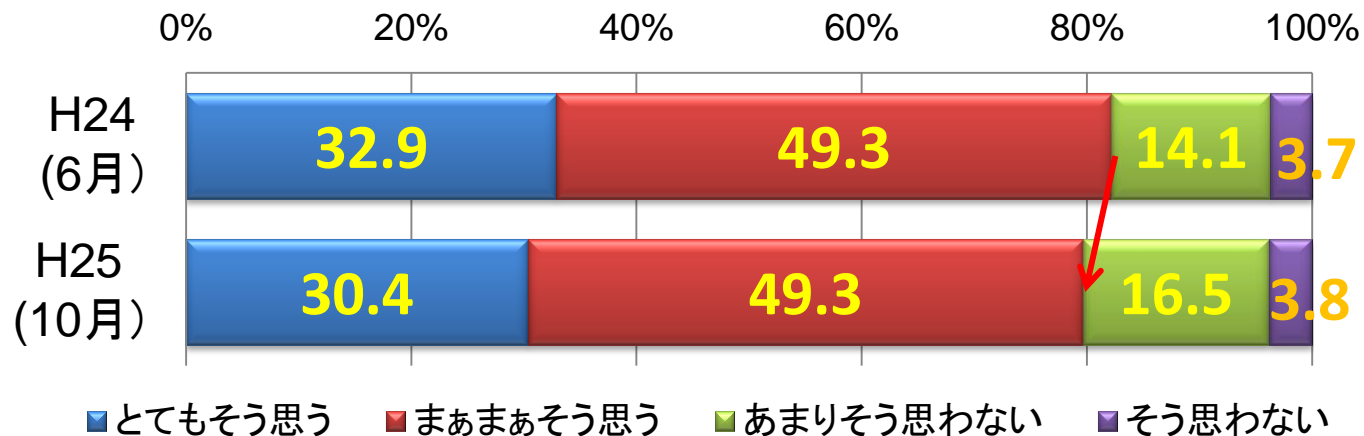
0% 20% 40% 60% 80% 100%



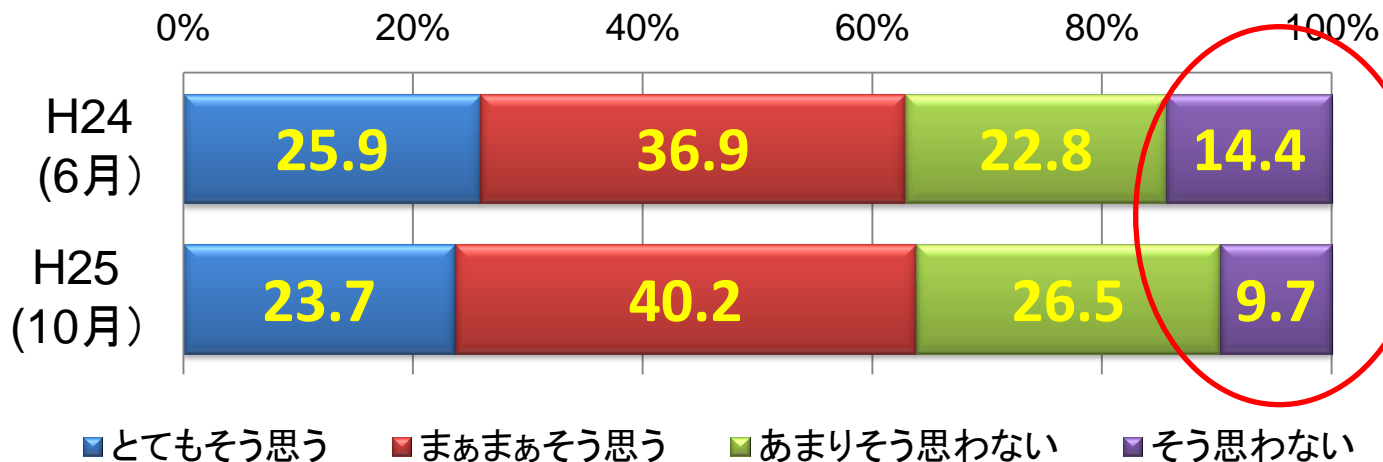
人と関わり合う学び

# 成果と課題

## 国語の学習は楽しいですか

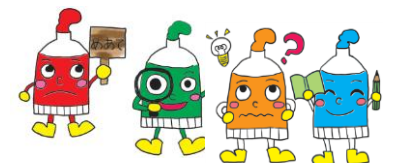


## 説明文を読むのは好きですか



## 成果

- ・あきらめずに前向きに学習に取り組む
- ・自分の言葉で論理的に説明しようとする態度
- ・理由や根拠をもとに考え、自信をもって発表
- ・「ひばりっ子タイム」で得た対話力や思考力を、授業の中で活用→学び合いや読みの深まり
- ・地域や家庭への啓発



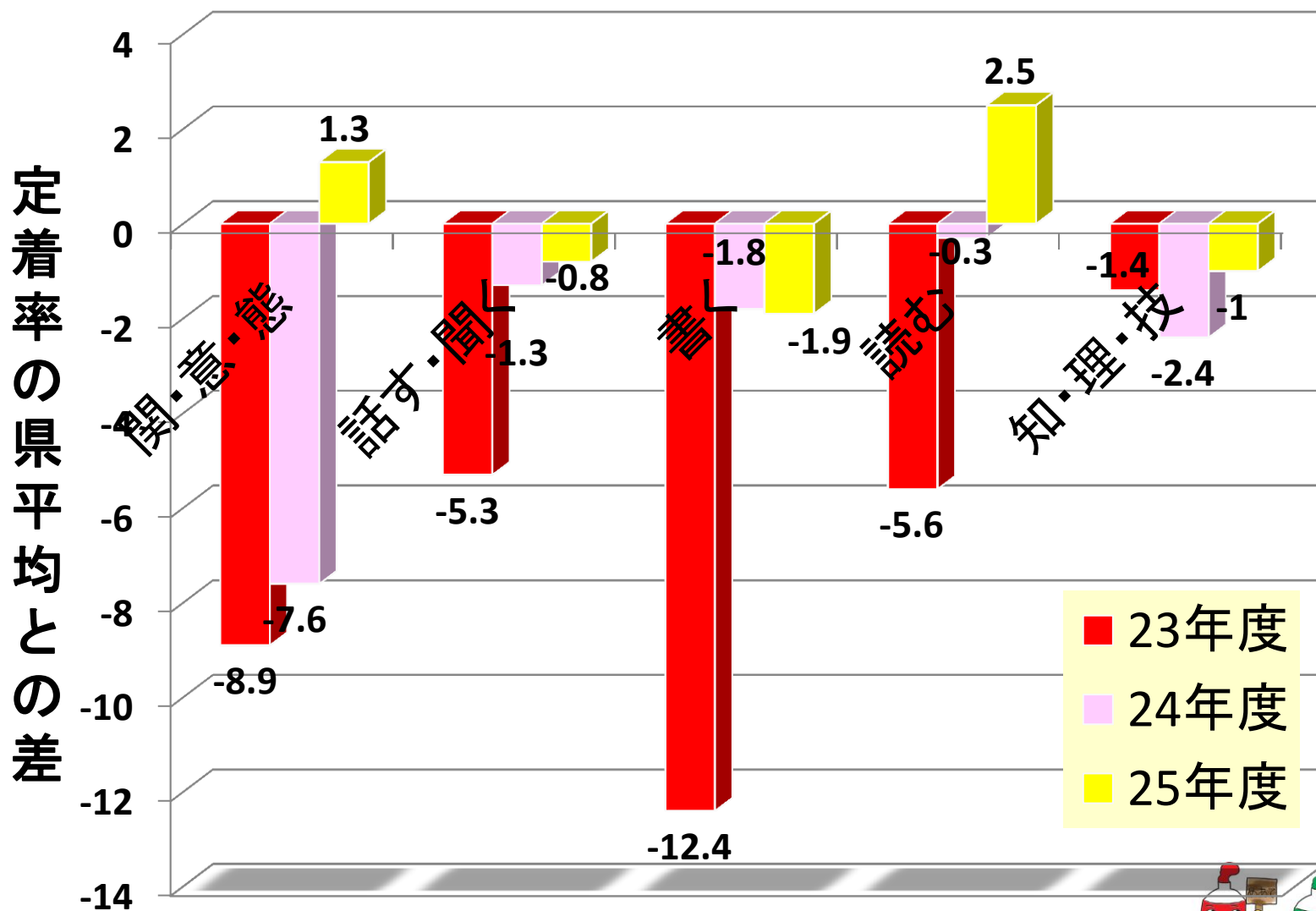
# 成果と課題

## 課題

- ・疑問を持って聞く、批判的な読みの力の育成
- ・「子どもが自ら学ぶ」学習を構築  
学習課題や発問をさらに工夫
- ・学んだことを日常生活で活用していくような取組
- ・広いワークスペースや壁面の効果的な活用



# 県学力調査国語科の結果(3年から6年までの平均)



※25年度は、24年度と同一問題で実施し、24年度の県平均と比較

ご静聴  
ありがとうございました



菊陽中部小学校